

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月16日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902611		
法人名	医療法人社団 旭川圭泉会病院		
事業所名	グループホーム やすらぎ		
所在地	北海道旭川市東旭川町下兵村254番地3 (電話) 0166-36-6511		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年2月14日	評価確定日	平成21年3月2日

【情報提供票より】(平成20年1月20事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月30日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤17人, 非常勤	人, 常勤換算11.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	18,000~25,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(1月20日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	7名	要介護2	2名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 81.7歳	最低	66歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 旭川圭泉会病院・東旭川病院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体医療法人が運営する総合複合施設の中の2ユニットのグループホームで、町内の婦人部会で認知症に対する理解や介護認定の申請手続き、介護相談などの講習会実施などホーム機能を積極的に地域に還元しています。また、職員の段階に応じた研修会も充実させて、母体医療法人での院内基礎研修や学習療法講習会、感染症対策講習会等が継続的に実施されケアサービスの質の向上の取り組みが実践されています。七夕での花火大会では、近隣の子供達との交流や保育園児との交流、学者犬や歌謡ショー・マジックショーなどボランティアの受け入れ、「グループホーム新聞」の町内会への回覧、敬老会や農業祭り参加を通じて地元の人々との交流にも努めています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、地域とのさらなる交流促進が挙げられていましたが、町内会婦人部での認知症に対する理解や介護認定の申請手続き、介護相談などの講習会実施などホームの持つ機能を地域に還元する取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価は、定期的開催されるミーティングの中で職員の研修の機会として利用され「学び」や「新たな気づき」として「権利擁護」などの研修充実等 具体的な課題の改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月ごとに定期的開催され、主な議題については婦人部会との交流会について報告 -1認知症に対する基礎知識 -2介護認定の申請手続、介護相談窓口について 地域包括支援センターの役割について(センター長より) 市民委員会主催の地域行事参加について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族会が結成され、定期的総会等開催され意見交換や不安への対応、要望など話し合わせ運営に反映されています。また、利用料を毎月持参する際に健康状態や生活の様子など報告が行われ管理者・職員に意見や要望等を表わせる機会も確保されています。ホーム内には、意見箱を工夫した場所に設置して苦情を表せる機会も設けています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 母体医療法人主催の「来て見ん祭」の開催や夏祭り、屯田公園ふれあい交流会、地域交流会での地域の人々との交流や敬老会や農業祭りへ利用者と共に参加したり、保育園児の訪問、学者犬の訪問、大正琴などのボランティアの受け入れ、町内会に「グループホーム新聞」を回覧するなど日常生活を通じて地元の人々との連携に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、グループホーム独自の理念をつくりあげて毎朝申し送り前に唱和している。		身体機能の維持・向上のために車椅子を出来るだけ使わずに自立歩行を促す取り組みや刺し子や縫い物などの趣味への支援を通じて利用者一人ひとりの能力を引き出す工夫もされています。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝の申し送りで理念・基本方針を全員で唱和し、その実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体医療法人主催の「来て見ん祭」の開催や夏祭り、屯田公園ふれあい交流会、地域交流会での地域の人々との交流や敬老会や農業祭りへ利用者と共に参加したり、保育園児の訪問、町内会に「グループホーム新聞」を回覧するなど日常生活を通じて地元の人々との交流に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価は、定期的に行われるミーティングの中で職員の研修の機会として利用され「学び」や「新たな気づき」として「権利擁護」などの研修充実等 具体的な課題の改善の機会として取り組まれている。		母体法人との連携も密に行われ職員の研修の機会も多く看護や防災管理、市主催の権利擁護、協議会などへの研修参加が行われています。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヵ月毎に開催され、議事録も常備されている。委員は家族、町内会役員、民生委員、他施設の介護支援専門員、管理者及び職員で構成され、認知症が地域に理解される具体的活動に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者、包括支援センターとの連携を日常業務を通じて取り組んでいる。また、旭川市等主催の各種研修会参加や上川支庁主催の研修会には積極的に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>グループホーム新聞の発行や家族会で、外出行事や日常生活の様子など定期的に報告されています。また、金銭管理は毎月報告されていると共に状態変化時には、個々に合わせた報告が都度行われています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会が結成され、定期的に総会等開催され意見交換や不安への対応、要望など話し合われ運営に反映されている。また、利用料を毎月持参する際に健康状態や生活の様子など報告が行われ管理者・職員に意見や要望等を表わせる機会も確保されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職は極めて低い。また、定期的に発行される「グループホーム新聞」で職員の紹介記事が掲載されています。異動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の段階に応じた研修会も充実させて、母体医療法人での院内基礎研修や学習療法講習会、感染症対策講習会等が継続的に実施されていると共に身体拘束廃止委員会、感染対策委員会、事故防止対策委員会が設置されケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>特筆すべき点として、職員を育成する取り組みが法人全体に浸透し、計画的に取り組まれている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会、包括支援センター主催の研修会参加や同一法人内の他施設との交流を通じてケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、面接・相談を行い職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、センター方式を利用して一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴を把握し、刺し子や裁縫、食事の準備や調理、畑作業や花壇の手入れなど一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて刺し子や畑での野菜作り、散歩や買物、ヤクルトやパン屋さんの訪問販売で金銭を使う場面を見出したり本人を尊重した支援が行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、3ヵ月毎にモニタリングを行い、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		特筆すべき点として、アセスメント・介護計画・サービス実施の記録・評価・介護計画への反映の一連のサイクルが連動している。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、刺し子や習字などの趣味への支援や散歩、スーパーでの買物、受診介助など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、母体医療法人や主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、看護師が常勤し、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、法人の指針が明確化され早い段階から本人・家族の意志が確認されて職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した、言葉かけや対応、記録等の個人情報保護の取り扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、散歩や買物、畑作業での野菜作りや花壇の手入れ、刺し子や習字などの趣味への支援など本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、料理の下ごしらえや配膳など利用者と一緒に行っている。また、介助時の観察表が作られ顔色の变化、爪の色、痰、体熱など変化を見逃さない取り組みが職員間で共有されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2~3日を目安に支援している。また、入浴拒否の利用者にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かして、裁縫や刺し子、食事の準備や配膳、レストランなどへの外食、畑での野菜作りや花壇の手入れなど気晴らしの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、近隣への散歩やスーパーでの買い物、花菜里ランドやラベンダー見物、地域交流会や屯田公園ふれあい交流会・敬老会・農業祭り参加など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。また、身体拘束廃止委員会で極力、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		今後、無断外出を未然に防ぐケアの工夫や外出の支援など検討されています。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な火災避難訓練、自衛消防訓練の実施、救急救命訓練の実施、緊急時に速やかに対応できるようにマニュアルも整備されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態や力に応じた支援が行われ、具体的な食事や水分の摂取量が記録されている。また、栄養バランスや摂取カロリーについても医師の助言をうけて支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさや、光の強さは感じられない。また、共用空間には刺し子や習字などの作品が飾られて家族や来訪者に喜ばれている。採光が採り入れられた明るい平屋建ての清潔感が漂う共用空間では、利用者が集い談笑したり、職員と一緒に趣味を活かした支援なども行われている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、テレビなどの家電製品や仏壇、使い慣れた家具や写真、好みの花や観葉植物が飾られ居心地よく過ごせるような工夫がされている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。